

報道関係者 各位

平成22年1月22日

厚生労働省健康局結核感染症課

照会先：中嶋、江浪

(電話) 090-7809-4661

※厚生労働省において一般の方からの電話相談窓口を
開設しております。(10:00~18:00)

03-3501-9031

北海道札幌市におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

北海道札幌市から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

(広 報 メ モ)

平成22年(2010年)1月22日(金)16時
保健福祉局保健所感染症総合対策課

抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)の確認について

札幌市衛生研究所にて実施しているウイルスサーベイランスにおいて、患者から検出された新型インフルエンザウイルスについて、オセルタミビル(商品名:タミフル)に対する耐性が確認されましたので、その概要をお知らせいたします。

なお、厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度(病原性)には、直接影響を及ぼすものではないとされています。

1 ウイルス検出の概要

- 平成21年12月24日(木)、札幌市衛生研究所における検査(遺伝子解析)において、11月18日(水)に採取した咽頭ぬぐい液から検出された新型インフルエンザウイルスから、オセルタミビル耐性マーカーH275Yを検出。
- 平成22年1月21日(木)、国立感染症研究所における薬剤感受性試験において、上記ウイルスのタミフル耐性、ザナミビル(商品名:リレンザ)感受性を確認。

2 経過

- 患者(9歳、男児)は、11月17日(火)に発熱(39.8℃)し、タミフルの内服を開始。11月18日(水)に、札幌市内の医療機関を受診し、インフルエンザ簡易迅速検査でA(+)を確認し、検体(咽頭ぬぐい液)を採取。
- その後、患者の周辺地域において、これまでに、タミフル内服後に症状が改善しなかった者や患者数の異常な増加、集積等は確認されず、周囲への感染拡大は認められなかった。
- 患者が11月17日(火)に服用したタミフルは、患者の兄妹が11月17日以前に発症し、医療機関を受診した際に、処方されていた。

3 その他の検査状況等

- 平成22年1月22日(金)現在、これまでに札幌市衛生研究所で検出された新型インフルエンザウイルス416検体(検体採取日:6月11日~12月18日)について、タミフル耐性の調査を行った結果、患者が受診した医療機関から提出された検体のウイルスを含め、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異を確認したのは、10月7日(水)発表の1検体と合わせ2例目となっている。
- 北海道内におけるタミフル耐性遺伝子の確認は3例目。
- 日本国内では、本事例でタミフル耐性遺伝子の確認は38例目。

【問い合わせ先】

新型インフルエンザ全般について:保健所感染症総合対策課 細海、横澤 (TEL 622-5199)
検査方法等について :衛生研究所生活科学課 (TEL 841-8875)



報道関係者 各位

平成22年1月22日

厚生労働省健康局結核感染症課

照会先: 中嶋、江浪

(電話) 090-7809-4661

※厚生労働省において一般の方からの電話相談窓口を
開設しております。(10:00~18:00)

03-3501-9031

福井県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

福井県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

報道機関 各位

抗インフルエンザ薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザウイルスの確認について

本日、新型インフルエンザの感染が確認された方から、オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す新型インフルエンザウイルスが検出されましたのでお知らせします。

なお、確認された方は既に快復し、周囲へのタミフル耐性を疑う感染も確認されておりません。

なお、報道に際しては、感染された方のプライバシーに十分配慮していただくようお願いいたします。

記

1 検査結果概要

○ 平成22年1月15日（金）に、県衛生環境研究センターにおいて遺伝子解析を実施し、オセルタミビル耐性マーカーH275Y（遺伝子変異）が確認された。

○ 平成22年1月22日（金）に、国立感染症研究所で実施した薬剤感受性試験の結果、感染された方から分離培養したウイルスは、

①オセルタミビル耐性、②ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性があることが確認された。

※参考 耐性：薬剤に対し抵抗力を持ち、薬剤が効きにくくなること
感受性：薬剤が有効に作用すること。

2 感染者の経過等

感染者 丹南保健所管内在住の女児

基礎疾患等 喘息

【経緯】

平成21年11月27日（金） 発症
28日（土） 医療機関を受診、タミフル投与（12月2日まで）
簡易検査結果 A型「陽性」
12月 3日（木） 気管支炎、喘息等の症状により入院
4日（金） 医療機関から丹南保健所に報告
県衛生環境研究センターにおいて遺伝子（PCR）
検査を実施 新型「陽性」
8日（火） 症状が快復し退院

【家族等の状況】

感染された方の家族等に発症者はなく、周囲への感染拡大は認められなかった。

3 その他

○ 厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性に直接影響を及ぼすものではないとされております。

○ 本県では、県衛生環境研究センターにおいて、これまでに90検体の薬剤耐性変異の遺伝子解析を実施した結果、タミフル耐性を持つ遺伝子変異が確認されたのは初めてになります。

なお、全国では1月21日までに35例確認されております。



報道関係者 各位

平成22年1月22日

厚生労働省健康局結核感染症課

照会先: 中嶋、江浪

(電 話) 090-7809-4661

※厚生労働省において一般の方からの電話相談窓口を
開設しております。(10:00~18:00)

03-3501-9031

和歌山県和歌山市におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

和歌山県和歌山市から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

(資料提供)

平成22年1月22日 13時00分

和歌山市新型インフルエンザ対策本部

073-433-2261 担当: 保健対策課 森下・松浦

抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザウイルス(A/H1N1)の確認について

オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す新型インフルエンザウイルスが検出されましたのでお知らせします。

厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

1 検査結果

- ・ 遺伝子解析(和歌山市衛生研究所実施 1月18日 (月)判明)
オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性マーカーH275Y 検出
- ・ 薬剤感受性試験(国立感染症研究所実施 1月22日 (金)判明)
オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性確認
ザナミビル(商品名:リレンザ)感受性確認

2 患者の概要

市内在住の19歳 男性
基礎疾患:脳性マヒ

3 経過

平成21年

- ・12月30日 発熱、咳等のインフルエンザ症状が出現。市内の医療機関を受診。
簡易検査 A(+)。別の医療機関(病院)を紹介され、入院。タミフル、リレンザ、抗生剤処方。

平成22年

- ・1月4日 PCR検査により新型インフルエンザと確認。
症状悪化。
- ・1月6日 症状改善しないため、再度タミフル処方。簡易検査 A(+)を確認。
検体採取し、タミフル耐性検査を行う。
- ・1月7日 PCR検査により新型インフルエンザと確認。
- ・1月12日 回復し、退院。

現在、この患者から周囲への感染拡大は認められていません。

4 その他

県内におけるタミフル耐性遺伝子の確認は、3例目です。
市内におけるタミフル耐性遺伝子の確認は、1例目です。